

①「すべし」ってどんな感じ？……………

作文編

まえがき…………… 3

紹介文

① 自己紹介…………… 6
② 友人の紹介…………… 10
③ 学校・クラスの紹介…………… 14

じ < も

おねがい

① おねがい…………… 20
② おさそい…………… 24
③ おごとわり…………… 28
④ おわび…………… 32

記録

① 日記…………… 38
② 観察日記…………… 42
③ 感想文…………… 46

説明

① 自由研究…………… 52
② 記録文…………… 56

意見

① 学級会の提案文…………… 62
② 討論会の意見文…………… 66

あとがき…………… 71

まえがき

この本を読むみなさんへ

この本は、作文を書くときに気をつけてほしいポイントをわかりやすく書いたものです。小学校3年生くらいから6年生くらいまでの人が読んでわかるように工夫しました。

この本では、作文を書くことが苦手でも、いろいろな作文が自分の思う通りに、また相手に伝わるように書くコツを紹介しています。この本は、それぞれの内容が2つの見開きでわかるように書かれています。最初の見開きは出来事とはじめに書いた文章があります。次の見開きではアドバイスを受けて直した文章があります。それを見比べてください。最後にポイントがまとめられています。

作文を書くことは、自分を大きく成長させてくれます。自分の考え方、意見、ものの見方、感じ方などを文章であらわすとき、必ず自分と心と相談します。自分の心の様子を見たり聞いたり確かめたりすることが出来ます。自分自身のことを改めて知ったり、気がついたりすることでしよう。そうしているのを「自己理解」と言います。

順番に読まなくてもいいです。読みたいところから読んでください。みなさんが、作文を書くことによって、「自分にもいろいろがたくある」と気がついていければ、とてもうれしいです。

鈴木 教夫

作文などの文章を書くときは、テーマに沿った内容が読み手に伝わる
ことがたいせつです。そのためには理解を促す表現がポイントとな
ります。作文であれば読み手が情景を想像できる比喩を用いたり、「楽
しい」「悲しい」などのこころの動きを入れることで、共感が得られ
ることになります。さまざまな文章表現にはTPOに合った基本的
なルールがありますが、何よりも読み手に伝わる文章でなければなり
ません。

曖昧な表現であったり、読み手に不快感を与えてしまったりするこ
とで、気持ちや内容が伝わらなくなってしまいます。どのような表現
が良いのかいっしょに考えていきましょう。

紹介文



わたしは〇〇です。

わたしが住んでいるのは

〇〇町です。

家族はお父さんとお母さんと

姉がいます。



相手の人に自分のことを伝えるときには自己紹介をしますね。会話ではその場の雰囲気に合わせておこなえますが、作文となると伝える項目が大事になります。

ここでは、どのように表現すれば伝わるのかを考えていきましょう。
こんな表現をしていませんか？

「わたしは〇〇です。わたしが住んでいるのは〇〇〇町です。家族はお父さんとお母さんと姉がいます。」

このような書き出しから本文に入る人はいませんか？ 名前や家のことは伝わりましたか？

伝わっているように見えますが、ものたりない印象を受けますね。では、どのように表現すれば印象に残る伝わる文章になるのでしょうか。